



速報 第28号
発行
富山国際大学附属高校 新聞部
富山市願海寺4-4-4
E-mail:
press@tuins-h.ed.jp

後期生徒総会 行われる

生徒の意見 学校生活に反映

後期生徒総会が10月26日に行われ、全校生徒は各教室で、学習室から中継映像をYouTubeライブで視聴した。生徒会執行部や各委員会の活動方針が提示され、承認された。



方針案を発表する生徒会執行部と各委員長＝学習室

まず、生徒会執行部（稲垣咲羽会長）が活動方針案を提示。後期の目標として「生徒がアイデンティティを確立でき、たくさんの意見を反映させる」を掲げた。具体的な活動として挙げた「アンケート改革」は、月1回のペースでクラスごとにアンケートをとり、代議委員会での会議を経て集まった意見や改善案を学校側に提案することなどを重点として

いる。また、「学校紹介」では、学校で行っていることに興味を持ってもらえるような広報活動を計画する。続いて、各委員会がSDGsに基づいた活動方針案を提示した。風紀委員会では「学校の風紀を乱さず、明るい学校生活を」を目標に、「あいさつ運動」、「マナーアップデート作戦」など、全校生徒の意識改革を考えている。また、

昨年度新設されたユネスコ委員会は、今年新たに「一人一人が少しずつ、できることから行動できるユネスコスクールへ」を目標として掲げた。世界のために今、自分ができることを目的・意義とし、具体的な活動として「エコバッグの普及」、「食ロス削減啓発」を行うことを示した。

その他の委員会も、国際生がより有意義な学校生活を送れるような活動方針を提示した。執行部および各委員会で、様々な活動が計画されている。今後の後期生徒会の活動に期待したい。

【森井波琉】